

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

八潮のまちで 高齢化社会になって見直し必要？ 車椅子ウォッチング

バス通りから自宅まで 高齢者には坂がきついことわかる



39号棟横の坂道急勾配

5月13日に八潮で車いすウォッチングをしました。車止め幅が狭い、坂がきついなど改修が必要です。

高齢者の目で八潮のま
ちを見直してみると

左の写真をご覧ください。
上の写真は、39号棟横の坂道ですが、若かったときはそれほど苦にならなかった坂でしたが、高齢になり、車いすを押しようになるととてもきつく感じます。

八潮の方から「地域センターやコミプラ八潮に行きたいが行きも帰りも坂がきつくて車いすを押せないのだからなかなか行けない。困っている。」という話を聞きました。

そこで、どんなに大変かを
実体験することにして、5月



さかな橋(37号棟と38号棟間)の車止め、狭い。

13日にウォッチングをしました。下りはまだいいのですが、登りは坂の上上がりきるまで息が切れるほどのきつさでした。訴えた方の変さがよくわかりました。

真ん中の写真は、37号棟と38号棟間のさかな橋たもとにある車止めです。改修で幅が少し広くなったようですが、車いすを押し通る時は、高齢者にはもう少し広い方がいいと思いました。

下の写真は、1号棟のスロープです。スロープから歩道に接続してはいますが、歩道がバス通り方向と団地内通路方向に勾配があり、とりわけ団地



1号棟のスロープ。歩道部分が急勾配

内通路方向の勾配は急です。車いすの場合は厳しいのではないのでしょうか。改善してほしいという声が届いていますので、東京都など関係機関に働きかけていきます。

高齢者や障害者も安心して暮らせるまちに

八潮は、特養ホームや障害者施設がいくつもあり、昔から共生できるまちとして住民に育まれてきました。商業施設には団地ができた当初から自動ドアやスロープが付けられ、社会的弱者には「やさしい」まちといわれてきました。

しかし、高齢化率が22%を超えるほどになると、整備されたきたものの、今では十分なところがたくさん見えるようになりました。

車と歩行者を分離して、バス通りのレベルを各住宅より下げてまちがつくられましたが、高齢化になるとそれが大きな障害になっていくといえます。例えば、先にも述べましたが、バス通りに出るのに坂があり、車いすなどを押すには体力が必要です。大勢の方たちが苦労していることがわかりました。

しかし、バス通りに出るために通らなくてはいけない坂を改修することは、合意に時間がかかるだけでなく費用もかかり、なかなか難しい問題です。

毎日のことですから本当に大変だと思いつつも、行き詰ってしまいます。みなさんのご意見と知恵を伺います。

6月から新しい委員で議会が構成

5月25日に臨時議会が開かれました。

臨時議会では、常任委員会と特別委員会の委員配置が確認され、委員長と副委員長が選挙で選ばれました。

常任委員会の委員

総務委員会 飯沼雅子議員
 区民委員会 石田ちひろ議員
 厚生委員会 中塚亮議員(副)
 建設委員会 鈴木ひろ子議員
 文教委員会 南恵子議員

特別委員会

行政改革特別委員会 中塚亮議員
 震災対策特別委員会 南恵子議員(委員長)
 鈴木ひろ子議員

議会運営委員会

飯沼雅子議員

常任委員会には一人の配置しかできなくなりましたが、5人の議員がしっかりと報告しあい、情報を共有して頑張ります。みなさんの今まで以上のご協力をお願いします。

第2回定例会は
 6月21日から7月5日まで
 一般質問は
 中塚亮議員の予定です

生活・雇用・子どもだて・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先

南恵子区議会議員

電話(3790)1523